

0年以前に設置された施設の6割以上が衛生上問題のあることがわかった。設置年の古い施設は六面点検ができない構造であるものが多いことや、経年による劣化があること、さらに小規模な施設については保守管理の未実施等、衛生管理体制が整っていないことが示唆され、衛生確保対策を優先的に行う必要があると考えられた。

(受水槽設置方式)

受水槽設置方式では、全ての規模区分において地下式受水槽（屋内又は屋外）で指摘事項のあった施設が多いことがわかった。特に、小規模受水槽水道（8 m³以下）では屋内地下式受水槽の9割近くが衛生上問題のある施設であることがわかった。設置年と同様に六面点検ができない構造であるものは経年劣化の要因も加味され、さらに小規模な施設については保守管理の未実施等、衛生管理体制が整っていないことが示唆され、衛生確保対策を優先的に行う必要があると考えられた。

(受水槽材質)

受水槽の材質では、全ての規模区分においてコンクリート製の受水槽で指摘事項のあった施設が多いことがわかった。特に、小規模受水槽水道（8 m³以下）ではコンクリート製の受水槽の8割以上が衛生上問題のある施設であることがわかった。設置年と同様にコンクリート製であるものは経年劣化があること、さらに小規模な施設については保守管理の未実施等、衛生管理体制が整っていないことが示唆され、衛生確保対策を優先的に行う必要があると考えられた。

(検査（点検）の困難度)

検査の困難度では、簡易専用水道及び小規模受水槽水道（8 m³以下）において「検査が困難である施設」や「六面点検ができない施設」で指摘事項のある施設が多いことがわかった。「検査が困難である」や「六面点検ができない」ということは、管理しにくい設置場所や構造であり、管理のしやすい構造、設置場所を担保することは貯水槽の衛生確保に有効な手段であると考えられた。

(受水槽水の回転数)

受水槽水の回転数と検査結果をみると、小規模受水槽水道（8 m³以下）において、受水槽水が新しい水道水と入れ替わる率（受水槽水の回転率）の低い施設で指摘事項のあった施設が多いことがわかった。受水槽の有効容量と水の使用量とのバランスをとるように設定することは貯水槽の衛生確保に有効な手段であると考えられた。

(点検頻度)

点検頻度をみると、簡易専用水道及び小規模受水槽水道（8 m³以下）において「点検を全く行っていない施設」や「点検頻度の不明な施設」で指摘事項のあった施設が多いことがわかった。前述したとおり、実務上の管理体制、管理計画が確立していない施設について衛生確保がされないことが示唆された。実務上の管理体制等の確立は貯水槽の衛生確保に有効な手段であると考えられた。そのためには、貯水槽水道の設置者のみならず利用者の衛生管理意識の高揚のための取組強化が必要であると考えられた。

9 まとめ

貯水槽水道の衛生を確保するために次のことが重要であると考えられた。

- ① 小規模受水槽水道（8 m³以下）に対する取組強化
- ② 共同住宅に対する優先的な取組み
- ③ 昭和50年以前に設置された施設に対する優先的な取組み
- ④ 地下式受水槽（六面点検ができない構造）施設に対する優先的な取組み
- ⑤ コンクリート製受水槽施設に対する優先的な取組み
- ⑥ 点検等管理のしやすい設置場所、構造を担保するための取組み
- ⑦ 水の使用量に適した受水槽有効容量を設定（設計）するための取組み
- ⑧ 実務上の管理体制等の確立を担保するための取組み
- ⑨ 貯水槽水道の設置者及び利用者の衛生管理意識高揚のための取組強化

貯水槽水道アンケート調査票

No.

- 1 区分 7 簡易専用水道 イ 小規模貯水槽 (8 m³超) ウ 小規模貯水槽 (8 m³以下)
- 2 施設名 _____ (台帳No. _____)
- 3 地名 _____ 区 _____ 町 _____ 丁目 _____ 番地 _____
- 4 貯水槽の用途及び規模
- ① 用途
 ア 共同住宅 (戸数 _____) イ 専用住宅 ウ 事務所
 エ 店舗 オ 学校 カ 工場 キ 病院
 ク 旅館 ケ その他 (_____)
- ② 延べ床面積 (_____ m²)
- ③ 階数 地上 _____ 階 地下 _____ 階
- 5 届け出年
 ア 昭和50年以前 イ 昭和50年から60年まで
 ウ 昭和61年から平成6年まで
 エ 平成7年以降
- 6 設置 (給水開始) 年
 ア 昭和50年以前 イ 昭和50年から60年まで
 ウ 昭和61年から平成6年まで エ 平成7年以降
- 7 施設の構造
- ① 受水槽 ア 屋内・床上式 イ 屋内・地下式 ウ 屋内・ビルピ
 ト設置式 エ 屋外・床上式 オ 屋外・地下式
- ①—2 槽数 _____ 槽
- ①—3 有効容量 _____ m³
- ①—4 材質 ア コンクリート イ 鋼 ウ FRP
 エ その他 (_____)
- ② 高置水槽 ア 屋内 イ 屋外 (屋上)
- ②—2 槽数 _____ 槽
- ②—3 有効容量 _____ m³
- ②—4 材質 ア コンクリート イ 鋼 ウ FRP
 エ その他 (_____)
- ③ 給水方式 ア 高置水槽方式 イ 圧力水槽方式 ウ タンクレス方式
- ③—2 水道直結栓 ア 有 イ 無
- ④ 配管材質 ア 鋼管 イ 亜鉛メッキ鋼管 ウ 塩ビライニング
 鋼管 エ その他 (_____)
- ⑤ 防錆措置 有 (防せい剤 _____ ・その他 _____) 無
- 8 検査結果
- ① 直近 (1年以内) の検査結果
 ア 良い イ 指摘事項あり ウ 衛生上問題あり エ 検査未実施
- ② 最近2カ年の検査結果
 ア 継続して良い イ 継続して指摘事項あり ウ 継続して衛生上の
 問題あり エ 継続検査未実施

9 検査機関名

ア 登録検査機関等 () イ その他 (保健所)

10 その他 特記事項

(検査の結果等特記事項があれば記載してください。)

(例) よく管理されている。

()

以下の項目については、可能な範囲でお答えください。

11 水槽上部等の状況

① 汚水が入り込む危険性がある状況か否か ア 問題有り イ 問題なし ウ 不明

② 周辺の状況、ふたがはずれやすいなどの問題点 ア 有 イ 無 ウ 不明
問題点 ()

12 水槽周辺の状況

ア 草がはえている イ ごみが多い ウ 特に問題はない
エ その他 () オ 不明

13 検査・管理の困難度

ア 検査・管理に問題はない イ 六面点検ができない
ウ 検査が困難 (理由; 昇降が困難等)
エ その他の問題点 () オ 不明

14 更生工事の状況

ア 大規模な工事を行った イ 大規模な工事を行っていないが、小規模
な補修を行った ウ 補修を含め工事は行っていない
エ その他 () オ 不明

15 管理の状況

① 設置者による点検の実施状況

ア 行っている (回/月程度) イ 半年に1回程度 ウ 1年に1回
程度 エ 全く行っていない オ その他 () カ 不明

② 登録検査機関等による検査の実施状況

ア 1年に1回行っている イ 2年に1回程度行っている
ウ 年に1回程度行っている エ 全く行っていない オ 不明

③ 管理責任者の設置状況

ア 設置している イ 設置していない ウ 不明 ()

④ 水道使用水量

ア 1日使用水量 (_____ m³) イ 不明

⑤ 受水槽水の1日使用率 (1日使用水量 (平均) ÷ 受水槽有効容量)

ア 1回転以上 イ 1~0.8回転 ウ 0.7~0.5回転 エ 0.4~0.2回
転 オ 0.1回転 カ その他 ()

調査番号	1区分	4貯水槽の用途及び規模			5届け出年	6設置(給水開始)年	7施設の構造										8検査結果	小規模工部等の状況	12水槽周辺の状況	13検査・管理の困難度	14更正工事の状況	15管理の状況					小規模受水槽水道(8m以下)立入検査表				
		①	②	③			①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤						①	②	③	④	⑤		監視日	判定		
115	ウ	ケ	0	223	2	0	平成12年11月14日	工	平成080420	工	①	①-2	①-3	①-4	②	②-2	②-3	②-4	③	③-2	④	⑤	ウ	エ	ウ	3.9	4.91	ア	平成18年5月20日	C	
116	ウ	ケ	1	2182	3	1	平成13年2月28日	工	平成121001	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	19	9.66	ア	平成18年5月18日	A
117	ウ	ケ	0	1111	4	1	平成13年8月27日	工	昭和531221	イ	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	29	4.48	ア	平成18年10月31日	C
118	ウ	ア	26	1091	4	0	平成13年10月18日	工	昭和581201	イ	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	8.8	1.1	ア	平成17年5月30日	C
119	ウ	ア	9	499	3	0	平成13年10月29日	工	昭和550525	イ	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	3	1.5	ア	平成17年10月21日	A
120	ウ	ケ	1	40	1	0	平成13年11月1日	工	平成131022	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	0.4	0.43	エ	平成19年4月2日	A
121	ウ	ア	1	40	1	0	平成13年11月1日	工	平成131022	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	0.5	0.54	ウ	平成17年9月26日	A
122	ウ	ア	9	0	4	0	平成13年10月31日	工	平成020101	ウ	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	2.1	1.94	ア	平成17年6月1日	C
123	ウ	ア	17	713	4	0	平成13年11月2日	工	平成030531	ウ	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	2.5	0.76	ウ	平成19年5月10日	A
124	ウ	ア	9	1097	5	1	平成13年11月5日	工	平成090321	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	8.5	2.08	ア	平成19年10月3日	A
125	ウ	ア	14	1501	4	0	平成13年12月6日	工	昭和100901	ウ	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	12	1.81	ア	平成18年5月10日	C
126	ウ	ア	16	1029	4	0	平成13年12月6日	工	平成131206	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	9.2	1.49	ア	平成17年6月20日	C
127	ウ	ア	0	329	1	0	平成14年1月11日	工	平成050715	ウ	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	14	7.93	ア	平成19年7月13日	C
128	ウ	オ	0	1600	4	1	平成14年4月27日	工	昭和140604	イ	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	0.3	0.06	オ	平成18年4月27日	A
129	ウ	ア	18	386	7	1	平成14年3月20日	工	平成110401	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	10	1.42	ア	平成17年7月14日	A
130	ウ	キ	0	1223	2	0	平成14年11月6日	工	平成141101	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	13	2.12	ア	平成17年6月27日	A
131	ウ	キ	30	1160	3	0	平成15年1月21日	工	平成140807	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	9.4	1.56	ア	平成17年7月5日	A
132	ウ	ケ	0	6649	3	0	平成15年4月8日	工	昭和1610901	ウ	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	8	2.65	ア	平成19年5月8日	C
133	ウ	ア	20	1203	6	0	平成15年7月16日	工	平成150730	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	5.9	0.99	イ	平成17年6月23日	A
134	ウ	ア	12	560	4	0	平成17年11月1日	工	S44.4.1	ア	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	7.9	1.05	ア	平成18年10月17日	C
135	ウ	ア	19	973	6	0	平成17年11月2日	工	2005/3/26	ア	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	5.8	2.75	ア	平成18年5月10日	C
136	ウ	ア	11	368.2	4	0	平成18年1月26日	工	H070401	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	1.3	0.34	エ	平成18年6月23日	C
137	ウ	ウ	0	12496	4	0	平成18年10月5日	工	H14.1.31	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	10	1.47	ア	平成19年3月26日	A
138	ウ	カ	0	10286	5	0	平成19年5月22日	工	H190508	工	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	ウ	エ	ウ	5.4	0.89	イ	平成19年5月22日	C

(2) 東京都水道局の悉皆調査から把握された実態

- 1 はじめに
貯水槽の実態の把握と適切な管理のあり方について検討するため、東京都水道局がアンケート調査を実施した。
- 2 調査方法
保有する貯水槽の管理台帳等に基づき、施設に関するデータを転記し、併せて管理上の問題点について調査した。
- 3 調査数
300 施設
- 4 調査期間
平成19年10月から12月
- 5 調査概要
 - (1) 調査項目
 - ① 貯水槽水道の規模、用途、設置年、構造、材質、給水方式等
 - ② 貯水槽水道の管理状況、検査結果、点検状況、管理者の設置状況、使用水量等
 - ③ 施設の現況と管理上の問題点
 - (2) 解析項目
 - ① 総括的事項
 - ア 規模区分
 - イ 施設用途
 - ウ 設置年
 - エ 受水槽設置方式
 - オ 受水槽材質
 - カ 給水方式
 - キ 配管材質
 - ② 上記区分と検査結果の相関
 - ア 規模区分と検査結果
 - イ 用途と検査結果
 - ウ 設置年と検査結果
 - エ 受水槽設置方式と検査結果
 - オ 受水槽材質と検査結果
 - ③ 管理状況と検査結果
 - ア 点検頻度と検査結果
 - イ 検査頻度と検査結果
 - ウ 管理責任者の設置状況と検査結果
 - (3) 調査結果の概要
アンケート調査結果の概要は、次の通りであった。
 - ① 総括的事項

ア 規模区分

調査対象は、簡易専用水道が32施設、小規模受水槽水道（8 m³超）が13施設、小規模受水槽水道（8 m³以下）が255施設計300施設であった。

表 1-(2)-1 調査対象施設数

	施設数
簡易専用水道	32
小規模受水槽水道(8超)	13
小規模受水槽水道(8以下)	255

イ 施設用途

施設の用途では全ての規模区分で共同住宅が多かった。

表 1-(2)-2 施設用途別施設数

	ア共同住宅	イ専用住宅	ウ事務所	エ店舗	オ学校	カ工場	キ病院	ク旅館	ケその他	合計
簡易専用水道	15	0	12	0	0	0	0	0	5	32
小規模受水槽水道(8超)	6	0	5	0	0	0	0	0	2	13
小規模受水槽水道(8以下)	134	19	51	0	0	2	0	1	48	255

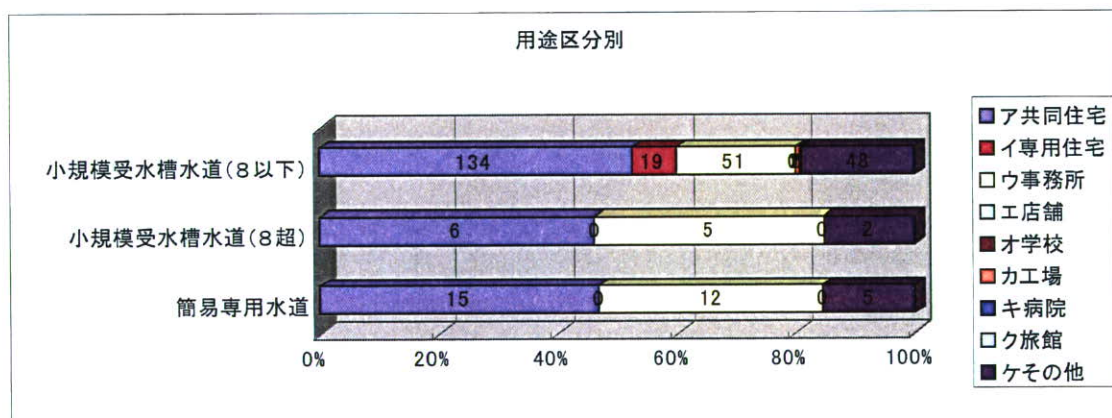


図 1-(2)-1 施設用途別施設数

ウ 設置年

設置年は、全ての規模区分で、昭和61年から平成6年までに設置された施設が多かった。

表 1-(2)-3 設置年別施設数

	ア昭和50年以前	イ昭和60年まで	ウ平成6年まで	エ平成7年以降	合計
簡易専用水道	0	0	29	3	32
小規模受水槽水道(8超)	0	0	11	2	13
小規模受水槽水道(8以下)	0	0	240	15	255

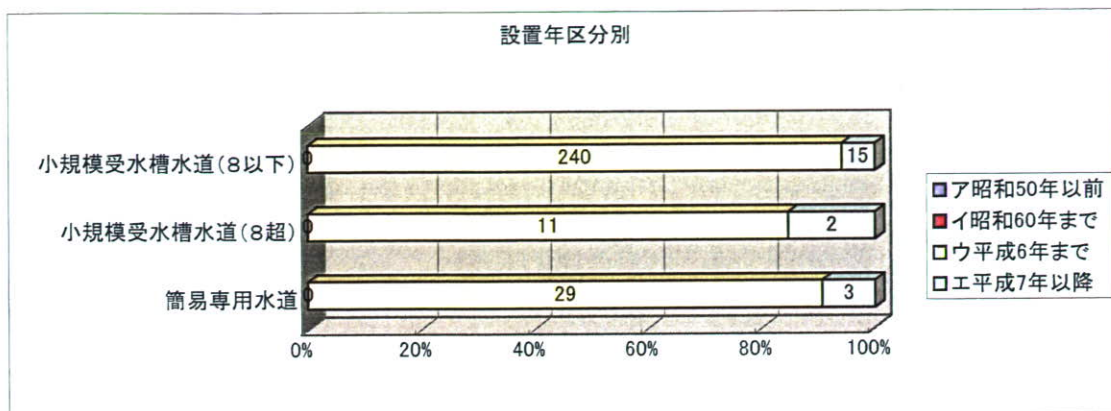


図 1-(2)-2 設置年別施設数

エ 受水槽設置方式

受水槽設置方式は、簡易専用水道及び小規模受水槽水道（8 m³超）では屋内地下式が多く、小規模受水槽水道（8 m³以下）では屋外式が多かった。

表 1-(2)-4 受水槽設置方式別施設数

	ア屋内・床上式	イ屋内・地下式	ウ屋内・ビルピット式	エ屋外式	合計
簡易専用水道	3	23	0	6	32
小規模受水槽水道(8超)	1	8	0	3	12
小規模受水槽水道(8以下)	45	81	0	122	248

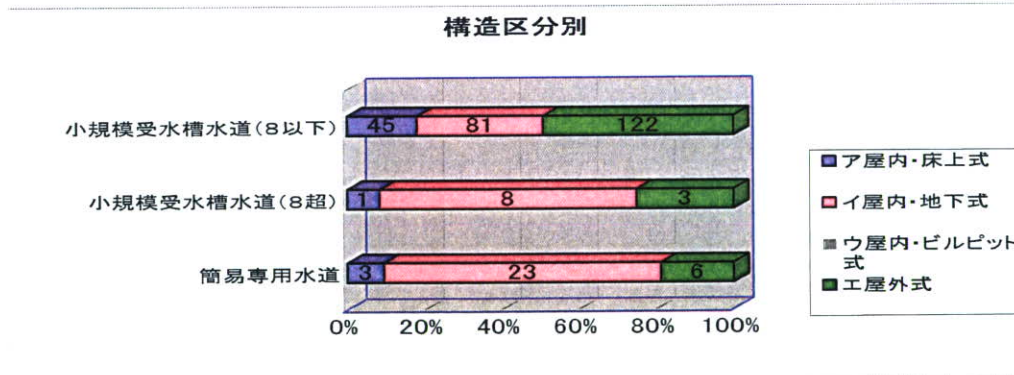


図 1-(2)-3 受水槽設置方式別施設数

オ 受水槽の材質

受水槽の材質は、簡易専用水道ではコンクリート製が多く、小規模受水槽水道（8 m³超）及び小規模受水槽水道（8 m³以下）ではFRP製が多かった。

表 1-(2)-5 受水槽材質別施設数

	ア コンクリート	イ 鋼	ウ FRP	エ その他	合計
簡易専用水道	21	1	9	0	31
小規模受水槽水道(8超)	4	0	8	0	12
小規模受水槽水道(8以下)	49	0	198	0	247

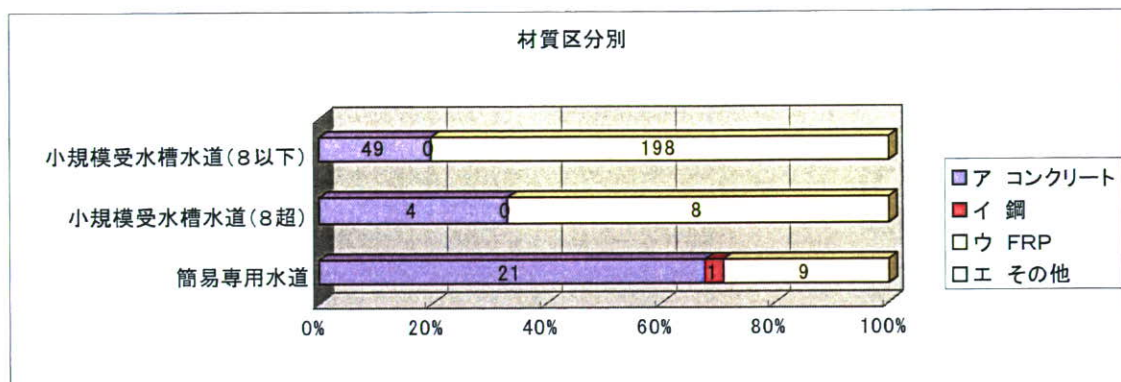


図 1-(2)-4 受水槽材質別施設数

カ 給水方式

給水方式は、簡易専用水道及び小規模受水槽水道（8 m³超）では高置水槽方式が多く、小規模受水槽水道（8 m³以下）では圧力水槽方式が多かった。

表 1-(2)-6 給水方式別施設数

	ア高置水槽方式	イ圧力水槽方式	合計
簡易専用水道	23	8	32
小規模受水槽水道(8超)	9	3	12
小規模受水槽水道(8以下)	72	175	247

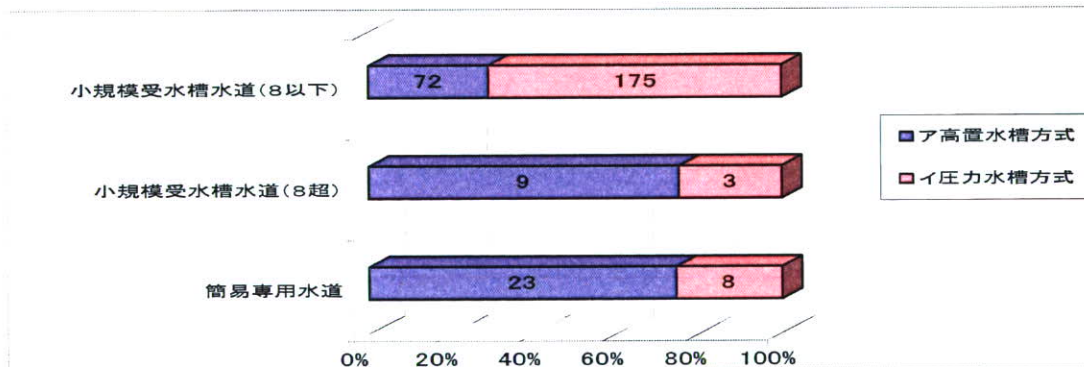


図 1-(2)-5 給水方式別施設数

キ 配管材質

配管材質は、全ての規模区分で「その他」が多かった。

表 1-(2)-7 配管材質別施設数

	ア鋼管	イ亜鉛メッキ鋼管	ウ塩ビライニング鋼管	エその他	合計
簡易専用水道	11	0	0	21	32
小規模受水槽水道(8超)	2	0	0	11	13
小規模受水槽水道(8以下)	46	0	0	208	254

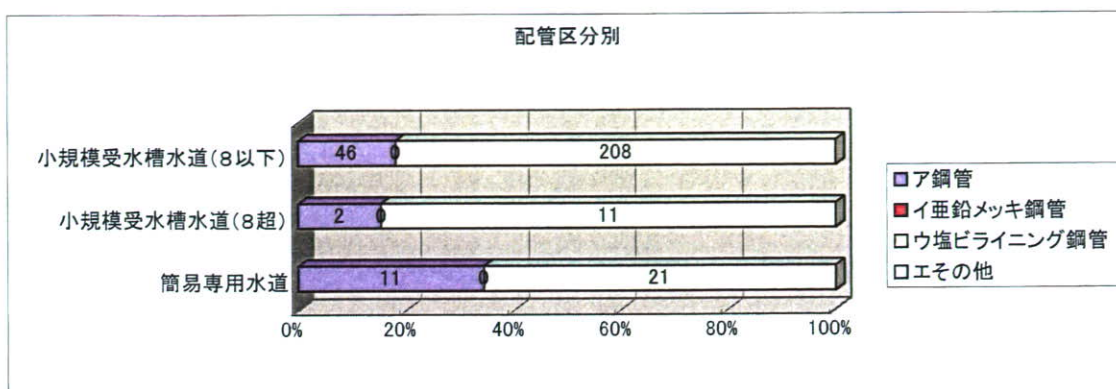


図 1-(2)-6 配管材質別施設数

② 上記区分と検査結果

ア 規模区分と検査結果

規模区分別に検査結果をみると、簡易専用水道では6.3%、小規模受水槽水道(8m²以下)では10.2%が指摘事項のあった施設であった。全ての規模区分で衛生上問題のある施設はなかった。

表 1-(2)-8 検査結果別施設数

	ア良い	イ指摘事項あり	ウ衛生上問題あり	エ検査未実施	合計
簡易専用水道	30	2	0	0	32
小規模受水槽水道(8超)	13	0	0	0	13
小規模受水槽水道(8以下)	229	26	0	0	255

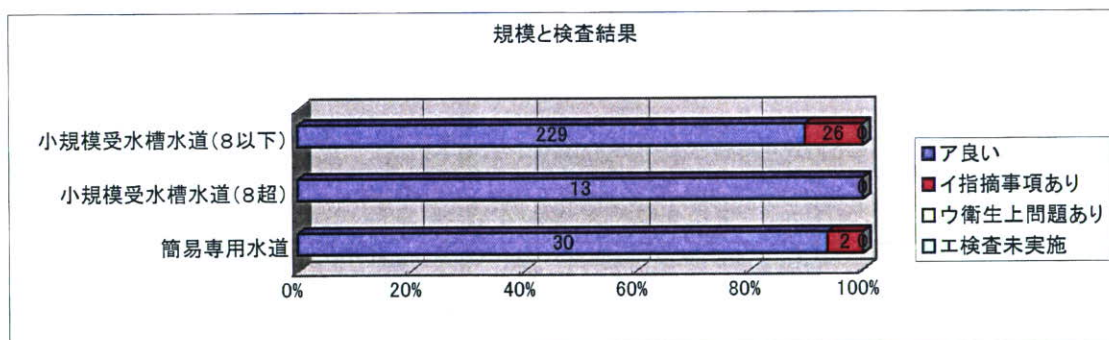


図 1-(2)-7 検査結果別施設数

イ 施設用途と検査結果

施設用途別に検査結果をみると、簡易専用水道ではその他の20.0%、小規模受水槽水道(8m²以下)ではその他の16.7%が指摘事項の施設であった。全ての規模区分で衛生上問題のある施設はなかった。

表 1-(2)-9 施設用途別検査結果(簡易専用水道)

	ア良い	イ指摘事項あり	ウ衛生上問題あり	エ検査未実施	合計
ア共同住宅	15	0	0	0	15
イ専用住宅	0	0	0	0	0
ウ事務所	11	1	0	0	12
エ店舗	0	0	0	0	0
オ学校	0	0	0	0	0
カ工場	0	0	0	0	0
キ病院	0	0	0	0	0
ク旅館	0	0	0	0	0
ケその他	4	1	0	0	5
合計	30	2	0	0	32

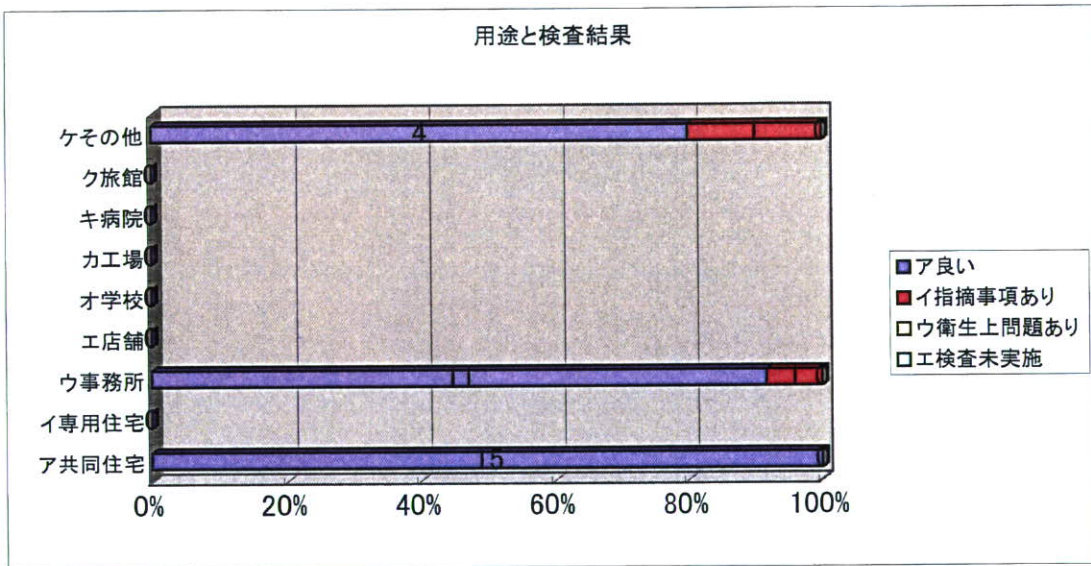


図 1-(2)-8 施設用途別検査結果(簡易専用水道)

表 1-(2)-10 施設用途別検査結果(小規模受水槽水道(8超))

	ア良い	イ指摘事項あり	ウ衛生上問題あり	エ検査未実施	合計
ア共同住宅	6	0	0	0	6
イ専用住宅	0	0	0	0	0
ウ事務所	5	0	0	0	5
エ店舗	0	0	0	0	0
オ学校	0	0	0	0	0
カ工場	0	0	0	0	0
キ病院	0	0	0	0	0
ク旅館	0	0	0	0	0
ケその他	2	0	0	0	2
合計	13	0	0	0	13

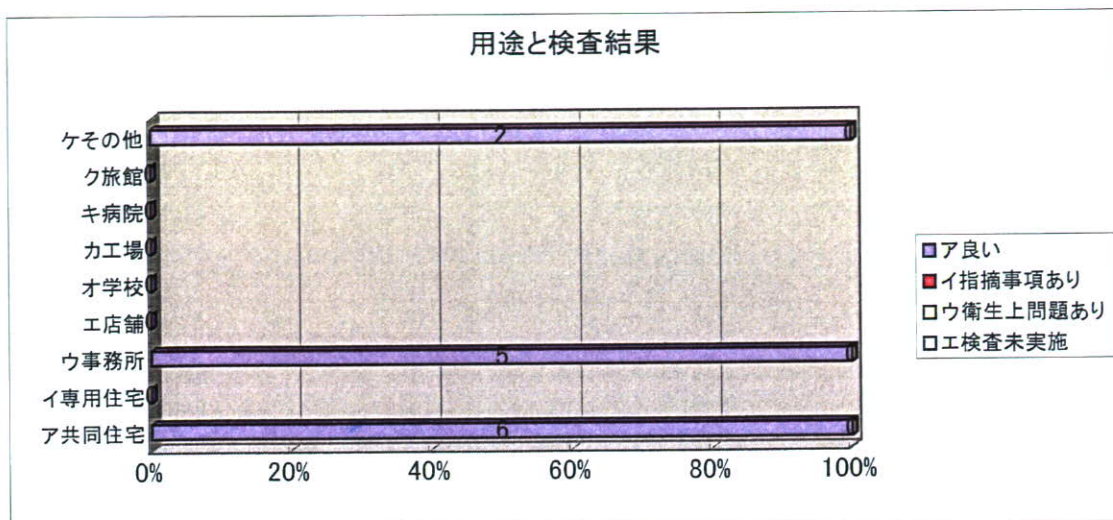


図 1-(2)-9 施設用途別検査結果(小規模受水槽水道(8超))

表 1-(2)-11 施設用途別検査結果(小規模受水槽水道(8以下))

	ア良い	イ指摘事項あり	ウ衛生上問題あり	エ検査未実施	合計
ア共同住宅	121	13	0	0	134
イ専用住宅	18	1	0	0	19
ウ事務所	47	4	0	0	51
エ店舗	0	0	0	0	0
オ学校	0	0	0	0	0
カ工場	2	0	0	0	2
キ病院	0	0	0	0	0
ク旅館	1	0	0	0	1
ケその他	40	8	0	0	48
合計	229	26	0	0	255

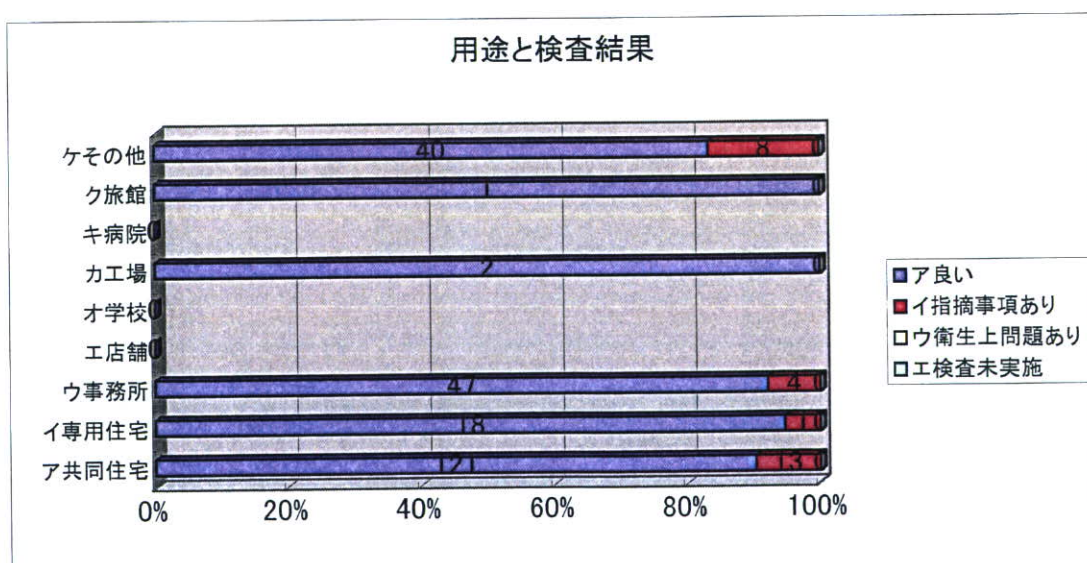


図 1-(2)-10 施設用途別検査結果(小規模受水槽水道(8以下))

ウ 設置年と検査結果

設置年別の検査結果をみると、簡易専用水道では昭和61年から平成6年までに設置された施設の6.9%、小規模受水槽水道（8 m³以下）では平成7年以降に設置された施設の100%が指摘事項の施設であった。

全ての規模区分で衛生上問題のある施設はなかった。

表 1-(2)-12 設置年別検査結果(簡易専用水道)

	ア良い	イ指摘事項あり	ウ衛生上問題あり	エ検査未実施	合計
ア昭和50年以前	0	0	0	0	0
イ昭和60年まで	0	0	0	0	0
ウ平成6年まで	27	2	0	0	29
エ平成7年以降	3	0	0	0	3
合計	30	2	0	0	32

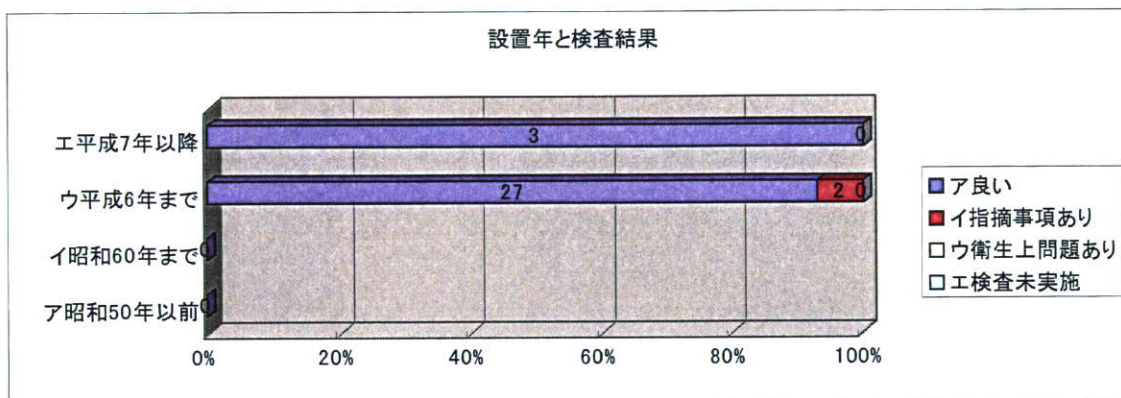


図 1-(2)-11 設置年別検査結果(簡易専用水道)

表 1-(2)-13 設置年別検査結果(小規模受水槽水道(8超))

	ア良い	イ指摘事項あり	ウ衛生上問題あり	エ検査未実施	合計
ア昭和50年以前	0	0	0	0	0
イ昭和60年まで	0	0	0	0	0
ウ平成6年まで	11	0	0	0	11
エ平成7年以降	2	0	0	0	2
合計	13	0	0	0	13

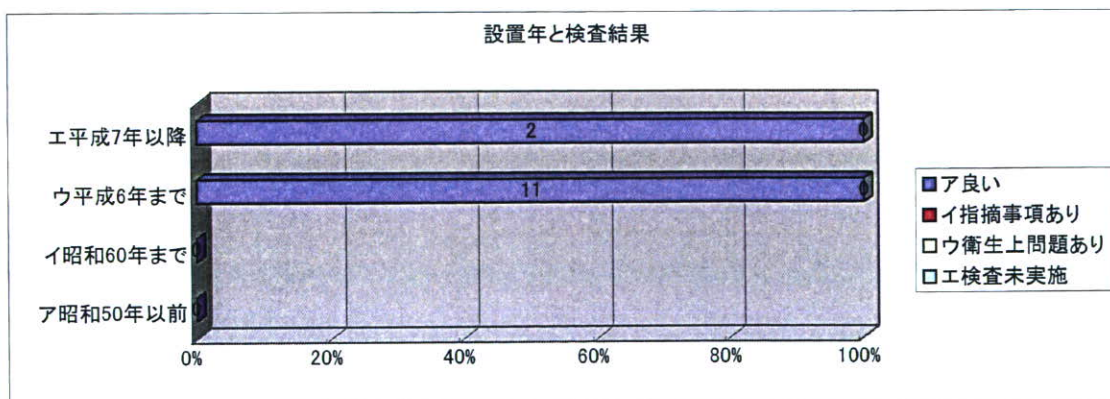


図 1-(2)-12 設置年別検査結果(小規模受水槽水道(8超))

表 1-(2)-14 設置年別検査結果(小規模受水槽水道(8以下))

	ア良い	イ指摘事項あり	ウ衛生上問題あり	エ検査未実施	合計
ア昭和 50 年以前	0	0	0	0	0
イ昭和 60 年まで	0	0	0	0	0
ウ平成 6 年まで	215	25	0	0	240
エ平成 7 年以降	0	15	0	0	15
合計	215	40	0	0	255

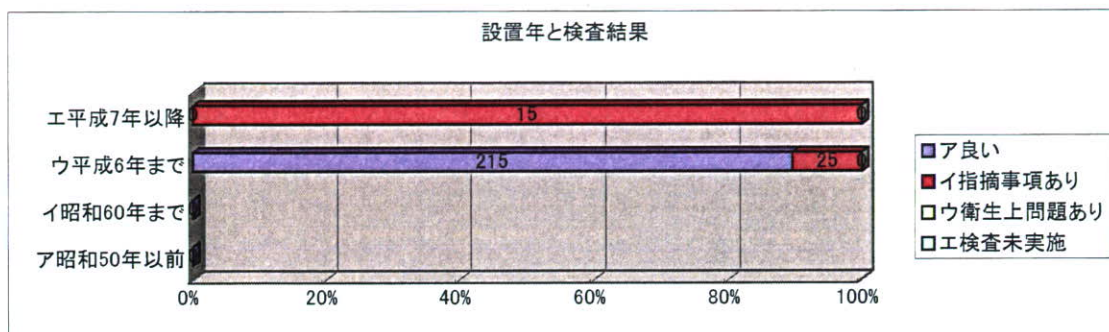


図 1-(2)-13 設置年別検査結果(小規模受水槽水道(8以下))

エ 受水槽設置方式と検査結果

受水槽設置方式別に検査結果をみると、簡易専用水道では屋内床上式受水槽の 33.3%、小規模受水槽水道(8^m以下)では屋内地下式受水槽の 11.1%が指摘事項のあつた施設であつた。

全ての規模区分で衛生上問題のある施設はなかつた。

表 1-(2)-15 受水槽設置方式別検査結果(簡易専用水道)

	ア良い	イ指摘事項あり	ウ衛生上問題あり	エ検査未実施	合計
ア屋内・床上式	2	1	0	0	3
イ屋内・地下式	22	1	0	0	23
ウ屋内・ビルピット式	0	0	0	0	0
エ屋外・床上式	6	0	0	0	0
オ屋外・地下式	0	0	0	0	0
合計	30	2	0	0	32

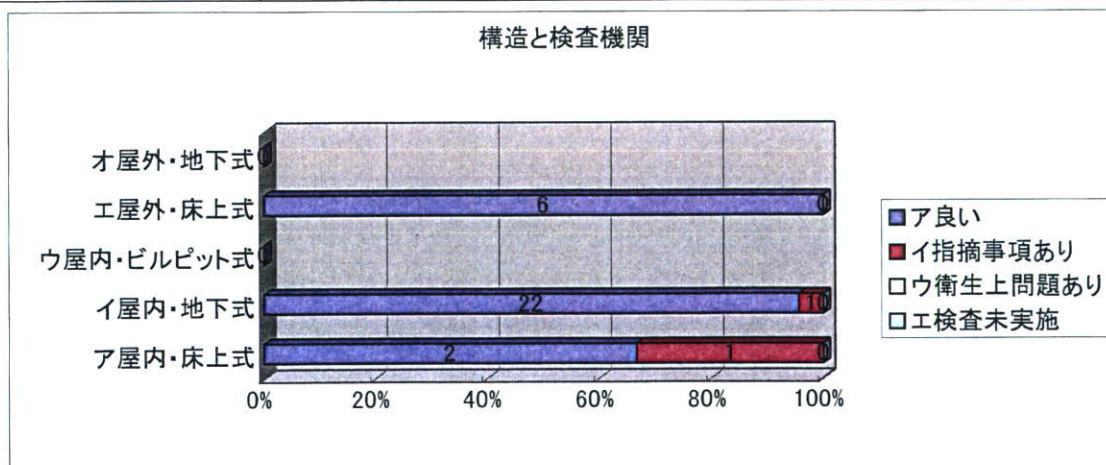


図 1-(2)-14 受水槽設置方式別検査結果(簡易専用水道)